

一般財団法人 岐阜市にぎわいまち公社

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 まちづくり活動支援事業

岐阜市らしい個性ある良好なまちなみの創出や地域の活性化を景観まちづくりによって推進することを目的に、市民参画による住民主体の景観まちづくり活動等を支援・育成し、その推進を図るため以下の業務を行った。

(1) 景観まちづくり活動支援業務

まちなかの再生や個性ある魅力的なまちなみの形成を目指し、また『景観整備機構』として各種の事業を行った。

① 景観まちづくり活動の支援に関すること

岐阜市景観形成市民団体(7団体)や中山道加納宿まちづくり交流センターの活用促進に取り組む地元まちづくり団体等の動向を把握及び支援するため、役員会や事業、会議等に参加するとともに技術的支援を行った。

支援状況：役員会、総会、事業等への参加(計38回/4団体)

また、景観まちづくりに関する情報収集に努めるとともに、景観まちづくりに資する活動を行う団体等の要請に応じて、まちづくりに関する各種専門家の派遣及び相談に対する助言や情報提供などを行った。

ア. まちづくりライブラリー

蔵書数：431冊(26冊追加)

利用状況：4人 13冊(前年度：3人 4冊)

イ. まちづくりアドバイザー

登録者数：20人(派遣実績なし)

② 景観まちづくり活動の啓発に関すること

住民主体の景観まちづくり活動を啓発する事業として、景観まちづくり講演会「景観と人とデザインと」を開催した。

ア. 景観まちづくり講演会

開催日時：令和4年11月3日(木・祝) 14:00~15:30

開催場所：中山道加納宿まちづくり交流センター 会議室

講師：名古屋工業大学 大学院工学研究科

石松 丈佳教授

演題：「景観と人とデザインと」

参加人数：38人

③ ぎふ景観まちづくりファンド助成制度のフォローアップに関すること

ぎふ景観まちづくりファンド助成を行った物件について、一定期間内における維持管理状況の確認等を行った。

助成承諾総数：127件（平成20～令和3年度）

※財産処分制限期間※内の物件数：62件（令和4年4月1日現在）※助成後10年間

④ リノベーションを活用した景観まちづくりの醸成に関すること

金華地区等におけるリノベーションまちづくりの機運醸成を図る事業として、「ミライの伊奈波 トーク in 水琴亭」を開催したほか、「ミライの伊奈波 妄想ウォーク」としてまち歩きを行い、そのための建築物基礎調査を概ね伊奈波界限まちづくり会の活動範囲において行った。

ア. リノベーションまちづくり

まちづくり講演会 「ミライの伊奈波 トーク in 水琴亭」

開催日時：令和5年1月14日（土）14：45～16：30

開催場所：ぎふ水琴亭（岐阜市米屋町 27-2）

講師：大島 芳彦氏（建築家・株式会社ブルースタジオ 専務取締役）

演題：「消費者を当事者にかえる 持続可能な社会環境づくり
～誇りある不動産・誇りあるまちを目指して～」

参加人数：29人

まちあるきツアー 「ミライの伊奈波 妄想ウォーク」

開催日時：令和5年1月14日（土）10：30～12：30

開催場所：伊奈波エリア

案内人：蒲 勇介氏（株式会社岐阜まち家守 副社長）

参加人数：15人

イ. 伊奈波エリアの建築物基礎調査

調査場所：伊奈波界限まちづくり会活動エリア及びその周辺

調査内容：a. リノベーションまちづくりの視点で活用の可能性がある建物・空間等の把握

b. 概ね昭和30年以前に建てられた建物の現状

調査方法：a. 調査員の目視による調査

b. 2017年の住宅地図及びPLATEAU（プラトー）の建築年の情報を基に、目視による調査

調査日：令和4年10月24日（月）及び11月2日（水）

調査結果：a. 16件の活用の可能性がある建物・空間をピックアップ

- b. 2017年から調査日までの期間で、昭和30年代以前に建てられた建物が解体や建替えにより71棟消失

(2) まちなか歩き回廊推進業務

歴史ある岐阜の魅力と心の豊かさが感じられる「まちなか歩き回廊」の実現に向け、ウォーキングイベント「まちなか歴史クイズウォーク信長公からの指令」事業を行った。

開催日時：令和4年11月12日(土)・13日(日) 9:00～16:30

開催場所：岐阜公園および岐阜公園周辺の史跡等(初級/上級の2コース)

参加人数：スタート受付 延べ3,211人(うち子ども 延べ1,427人)

ゴール受付 延べ2,108人(うち子ども 延べ978人)

(3) 岐阜公園総合案内所運営業務

岐阜市民や岐阜市を訪れた人が、岐阜の歴史や文化等を感じながら「まちなか歩き」を楽しむことができるよう、イベントなどの情報を収集し、案内・情報提供を行った。

開館日数： 359日 (前年度 359日)

来館者数：73,333人 (前年度 48,992人)

案内者数：6,747人 (前年度 4,567人)

2 中心市街地活性化事業

中心市街地の活性化と都市機能の増進を図るため、『中心市街地整備推進機構』として、岐阜市中心市街地活性化基本計画に基づく各種事業等を行った。

(1) 中心市街地活性化推進業務

① 遊休不動産の利活用促進事業

遊休不動産の利活用促進を図るため、柳ヶ瀬周辺エリアにおける不動産の利活用状況調査を行った。

調査場所：柳ヶ瀬周辺エリア

調査内容：建物等の1階部分の現況利用状況の把握

調査方法：調査員の目視による調査

調査日：令和4年11月11日(金)

調査結果：利活用が想定できる不動産12件ピックアップ

② 中心市街地活性化支援事業

柳ヶ瀬商店街、まちづくり団体など、まちの魅力となるコンテンツの創出に向けた各種の取り組みに関する動向の把握に努め、その進捗を後押しするための技術的支援(助言・調整)を行うとともに、各種活動状況を記録しその情報

発信(テレビ番組や情報誌等)を行った。

また、中心市街地への居住を促進するため、定住促進にかかる補助金等の相談や申請に関する窓口業務を柳ヶ瀬内ロイヤル劇場ビルにて実施した。平日に加え土日祝日に窓口を開設することで、利用者の利便性向上に寄与している。

ア. 中心市街地の活性化に関する相談対応 相談件数 140 件

イ. 定住推進にかかる補助金に関する相談対応 相談件数 394 件(人)

ウ. 商店街や地域団体等が主体的に取り組む事業への支援 計 4 回

エ. まちづくり団体への技術的支援 会議等 計 16 回

オ. 中心市街地活性化基本計画の推進にかかる支援 視察対応 計 5 回

カ. 情報発信による支援

カ-1 テレビ番組を活用した情報発信 制作/OA 回数 12 回

ぎふチャン「めっちゃぎふわかるてれび」めっちゃまちづくりコーナー

4月29日(金) パワーアップしたサンビル

5月27日(金) 動き出したリノベーションスクール ～まち全体を劇場に～

6月24日(金) 注目度UP!柳ヶ瀬のいま ～ファッション篇～

7月29日(金) 注目度UP!柳ヶ瀬のいま ～老舗店舗篇～

8月26日(金) 柳ヶ瀬を舞台に昭和の薫り ～ぎふ柳ヶ瀬夏まつり～

9月23日(金) 岐阜市のリノベーションまちづくり ～グルメ編～

10月28日(金) 活気あふれるまちへ ～岐阜市伊奈波地区～

11月25日(金) 中心市街地の活力発信 ぎふ信長まつり

12月9日(金) 柳ヶ瀬日常ニナーレ ～多彩なプログラムでまちを深掘り～

1月27日(金) 注目度UP!柳ヶ瀬のいま ～まちなかのカレーのお店篇～

2月24日(金) まちなかで学ぼう! ～おしえ店長サン～

3月31日(金) 注目度UP!柳ヶ瀬のいま ～まちなかで珈琲を楽しむ～

カ-2 商店街等向け情報誌「まち.みせ.ナビ」の作成 発行回数 4 回

Vol.04 2022年夏号(2022年7月) 1,500部

Vol.05 2022年秋号(2022年9月) 1,500部

Vol.06 2022年冬号(2022年12月) 1,500部

Vol.07 2023年春号(2023年3月) 1,500部

(2) リノベーションまちづくり推進業務

中心市街地活性化基本計画(3期目)の方針である「まちの魅力となるコンテンツの創出」を目指し、中心市街地の核である柳ヶ瀬を中心としたエリアの価値向上を図った。

創業・起業を目指す人や事業としてまちづくりに関わる人が集まり始めた柳ヶ瀬に、まちと多様に関われる機会として「やながせテーブルトーク」を開催し、新たなまちづくりの担い手(興味・参加型)の育成、創出を図った。

まちづくりに興味のある人たちに、まちの新旧の様々な資源(店舗・人・空間・歴史・文化など)の魅力を活かした体験プログラム「柳ヶ瀬日常ニナーレ」を提

供することを通して、まちづくりの担い手の育成、裾野拡大につなげた。

加えて、前年度までのリノベーションスクール物件活用案にかかる事業計画等のフォロー及び「柳ヶ瀬ハンドメイドスタジオ HUKIN」等の事業化を支援した。

ア. やながせテーブルトーク

開催日時：令和5年3月15日（水） 19：00～21：00

開催場所：やながせRテラス（岐阜市日ノ出町1丁目20番）

参加人数：11人

イ. 柳ヶ瀬日常ニナーレ

開催期間：令和4年11月20日（日）～令和5年2月4日（土）

開催場所：柳ヶ瀬商店街および周辺エリア

プログラム数：49プログラム

参加者数：367人

(3) 中心市街地まちづくり活動事業

まちなか活性化活動拠点運営事業として、柳ヶ瀬エリア内のロイヤルビルの一部を借上げ、各種団体の活動発表や展示、ワークショップ会場等の活用のもととして「レンタルスペース」の運営を行った。

加えて、岐阜市立中央図書館と連携し「まちライブラリー」を設置するなど、パブリックマインドを持った人たちの交流の場として「やながせRテラス」の運営を行った。さらに一部空間を用いて柳ヶ瀬エリア内に不足している授乳室やおむつ交換スペース、休憩スペース等の公益機能を提供したほか、中心市街地活性化に関する取り組みの情報提供、相談対応等を行う窓口を開設した。

ア. レンタルスペース(3,4階)

利用状況：178件 30,311人（前年度：160件 16,920人）

イ. やながせRテラス(2階)

利用者数：19,544人（前年度：13,770人）

※うち、ロイヤルヨンマル（まちづくりの担い手先駆者）

利用状況：31件 796人（前年度：17件 194人）

3 駐車場指定管理事業

岐阜市金公園地下駐車場の指定管理者として、『利便性があり、安全・安心で、防災に強い駐車場』を目指し、公平・公正なサービスを提供した。

収容台数： 145台

利用総数：67,770台（前年度 60,473台）

一日平均： 185台（前年度 165台）

4 視察対応及び講師派遣事業

これまで公社が関わってきた取り組み等に対する視察や講師派遣等の依頼について、公社事業として対応した。

視察対応 8件

講師派遣 5件（オンライン開催含む）

5 他財団との合併統合

一般財団法人岐阜市にぎわいまち公社と一般財団法人岐阜市みどりのまち推進財団の合併統合を行った。